



## タブレット端末をフル活用 駅構内での持ち運びをスマートに

駅構内でのお客さま案内や係員同士の情報共有を円滑にするため、Buddycomを導入しました。駅社員に支給されているタブレット端末を活用し、現場と事務室、ホームや改札などをつなぐ連絡手段として運用しています。

これまでサービスマネージャーは、タブレット端末、IP無線機、PHSの3種類の機器を持ち歩く必要があり、携行面で負担がありました。

また、IP無線機の台数には限りがあり、イベント時には他箇所から借りても不足することがありました。今後の大規模イベントに備え、応援者を含む全ての係員が、必要な情報を必要なタイミングで共有できる手段が求められていました。

そのような状況の中、**グループ参加人数に制限がなく、エンタープライズ向け機能が充実している**ことが決め手となり、Buddycomを採用しました。

Buddycomの導入により、**連絡手段をタブレット端末1台に集約でき、現場での持ち運びが大きく改善**しました。



# イベント時の情報共有を強化

## 新宿駅など広い駅の構内でも円滑に連携

### 主な使用機能



### 新宿・千駄ヶ谷・上野で利用中 広くて階層が多い駅でもスムーズに会話

メンバー同士が一同に交信し、かつ通信感度もクリアであり聞き取りやすいため、我々が持っている課題が一気にクリアとなりました。操作も簡単であり、またアプリであることで社員に貸与しているタブレット端末がそのまま通信ツールとなり、情報共有をすぐに行えることが最大のメリットです。

### イベント開催時の情報共有で利用 現場状況を映像配信で即時共有

応援者を含む係員全体で同時に情報共有が可能となり、イベント時の連携が強化されました。

さらに改札付近でライブキャスト機能を利用することで、全ての係員が現場の混雑状況等を把握でき、お客さまのご案内に役立っています。



### 導入前の課題

- IP無線機の台数が限られ、イベント時に不足していた
- 複数端末（タブレット・IP無線機・PHS）の持ち運びが必要だった
- 全係員へ同時に情報共有できる仕組みが不足していた

### 導入検討中の方へメッセージ



今後、QRコードでアカウントを追加するなど、応援に駆けつけた社員が指定されたグループに接続可能になれば汎用性が広がると考えています。



音声だけでなく動画も共有できるBuddycomを活用することで社員の業務効率上がり、パフォーマンスの向上が期待できます。